

おはなしだより 6月

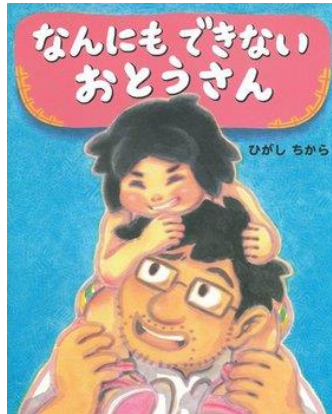
<年長>

なんにもできないおとうさん

作・装幀： ひがし ちから

出版社： あかね書房

みーちゃんは、今日おとうさんと公園へ行く約束をしています。でも おとうさんは、みーちゃんよりも早く起きられません。みーちゃんみたいにネコと話ができません。おとうさんは、大きいのにできないことがたくさんあるみたいです。三輪車にも乗れないし、宝物を見つけることも、チョウとおどることもできません…。いろいろなことができるようになる時期の女の子が、おとうさんと比べながら、自分の成長を確かめていくお話です。



おにぎりがしま

作： やぎ たみこ

出版社： ブロンズ新社

みなしごの少年・こたろうが会った、おにぎりおに。無人島にたどりつくと、ちいさなおには、もうれつな勢いで働きはじめました。田んぼをつくり、極上のお米「オニピカリ」を育てます。そして、できあがったのはこの世のものとは思えないほどおいしいおにぎり！
おいしそうなおにぎりに誘われてやってきたのは……

<年中>

コッコさんとあめふり

作・絵： 片山 健
出版社： 福音館書店

毎日毎日、雨降りです。コッコさんはてるてるぼうずを作りますが、雨はなかなかやみません。そこで、コッコさんはてるてるぼうずに手紙や宝物などを詰め込みます。まるまると太ってしまったてるてるぼうず、ちょっと疲れてしまったみたい。コッコさんはふとんをしいて、優しく看病してあげるのでした。さあ、コッコさんの願いは天に通じるのでしょうか？



ふしぎなナイフ

作： 中村 牧江 林 健造
絵： 福田 隆義
出版社： 福音館書店

どこにでもある、一本のナイフ。
そのナイフが、次々に形を変えていきます。
ふしぎなナイフが・・・
まがる。ねじれる。おれる。
われる。とける。きれる。
ほどける・・・。ちぢんで・・・ふくらんで・・・。

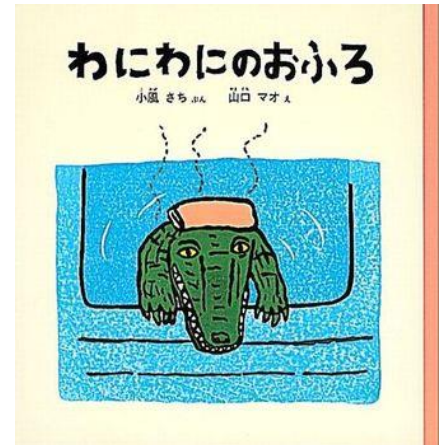
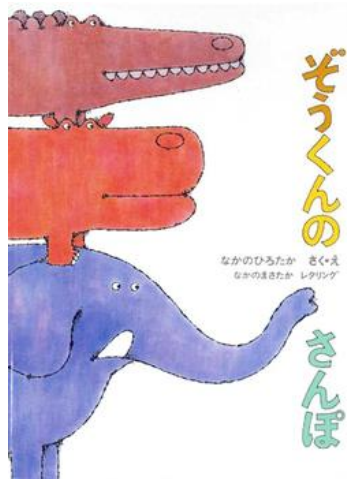
<年少>

ぞうくんのさんぽ

作・絵：なかの ひろたか
出版社：福音館書店

今日はいい天気。ご機嫌なぞうくんは、さんぽに出かけます。
すると、出会ったのはかばくん。「やあ、かばくん。」「おや、ぞうくん。どこいくの」「さんぽだよ。いっしょに いこう」
ぞうくんとかばくん、一緒にさんぽに行くのかな？
…と思いきや。かばくん、こんな事を言っていますよ。
「せなかに のせてくれるなら いても いいよ」
「いいとも、いいとも」力持ちのぞうくんは、かばくを背中にのせてさんぽです。うーん、なんだか不思議な光景です。すると、今度はわにくんに出会います。

「ぼくものせてよ」ぞうくん大丈夫？こうして奇妙なさんぽは続きます。すると、さらにかめくんが…。



わにわにのおふろ

文：小風 さち
絵：山口 マオ
出版社：福音館書店

ワニのわにわにはおふろが大好き。おふろ場にやってきて、蛇口をひねってお湯を入れ、お湯につかっておもちゃで遊びます。せっけんのあぶくをとばして遊んだあとは、シャワーをマイクに歌までうたうのです！ おふろから出ると、ちゃーんとタオルで体をふきます、“ぐにつぐにつぐなっぐなっ”っとね。少し不気味さの漂う木版のわにわにの、存在感、迫力感。